

平成26年度第1回（第7回）外部アドバイザー委員会報告書

1 開催場所

倉敷市立短期大学 大会議室

2 開催日時

平成26年6月24日（火） 13:05～14:47

3 出席者

①委員：出席6名（欠席2名）

江島学長（委員長）、高田委員、乙部委員（代理：姫路教頭）、陶山委員、河合委員、岸本委員
（欠席：佐藤委員、山本委員）

②教職員：出席6名（欠席1名）

野村保育学科長、内田服飾美術学科長、三輪図書館長、安達学生部長、
岩崎事務局長、峰尾事務局主幹
（欠席：田中学生部主幹）

③オブザーバー：出席2名（欠席0名）

澤田企画経営室室長、有本企画経営室主任

4 次第

- (1) 学長挨拶
- (2) 外部アドバイザー委員自己紹介
- (3) 短期大学関係者自己紹介
- (4) 報告・審議事項

5 外部アドバイザー意見

- 意見1：県と市の他にも、市立短大のPRのためにも、実践報告集を子育て中のお母さんが足を運ぶ公民館や児童館への配布を検討してはどうか。また、実践集でなくても短大でこのような親子交流広場を開設し活動しているんだとの案内を配布するのはどうか。よいものが出来ているので皆さんに知って欲しい。
- 意見2：服飾の関係について。キャリアシートの作成について質問。児島商工会議所の課題として児島の人口の減少がある。児島への就職支援、インキュベーションへの入居、ジーンズストリートでの開業なども視野に入れてキャリア支援をして欲しい。
- 意見3：繊維製品の出荷額は大阪が一番であったが、児島も争っている。児島は繊維素材も持っている。
- 意見4：保護者として、子どもの夢を叶えてやりたいと思う気持ちがあって服飾美術学科へ入学させている。保護者の目に見える形で就職への出口を提示するとよいのでは。例えば学生が卒業した先輩たちの姿をイメージ出来るようにする必要があるのでは。
- 意見5：ミニオープンキャンパスを開くとのこと、対象者に向けてこのようなところに就職しているとの広報するコーナーを設けるのはいかがか。

- 意見6：受験を考える学生は、最終的に考えるのは就職先であろう。多数の就職先を並べる必要はないが、参考となるためにも就職先を案内するものがあればよいのでは。短大でこのようなことを学び、就職先に生かせるのだと結び付けられるのではないのか。
- 意見7：進路がはっきり示されるとよいと思う。
- 意見8：3校で非常勤をしていたが、短大の学生は優秀であるので、短大に問題があるとは思わない。公務員が通らないのは四年大志向があるのでは。
- 意見9：公務員対策は、まず学科試験を通すには一般教養の対策が必要。
- 意見10：保育学科と服飾美術学科のコラボレーションをとれないか。子どものためのジーンズとか。
- 意見11：公立であるということだけでも魅力である。そこに指定校という枠があれば更に魅力的になると思う。県外からの学生が多いと感じたが、倉短の競合校はあるのか。服飾美術学科と競合するのは専門学校との認識を持っていた。高校生も出来るだけ早めに進路を決定したいとの気持ちがある。だからAOの取り組みもよいと思う。指定校推薦も有効。
- 意見12：市民交流センターを活用した育児セミナーがあると聞いた。地域との連携を期待している。

以上